

会議録

会 議 の 名 称		令和6年度第1回ふじみ野市地域福祉計画審議会				
開 催 日 時		令和6年7月30日(火) 開会時刻 午前10時15分 閉会時刻 午前12時00分				
開 催 場 所		ふじみ野市役所第2庁舎3階 B301会議室				
出席した者の氏名		役職名	氏名		役職名	氏名
		会 長	岡田 哲郎		事務局	仲野 公堅
		副会長	市来 久美子		事務局	大川 優生
		委 員	茂井 万里絵		事務局	佐々木 佐代
		委 員	杉本 佳久		社会福祉協議会	上明戸 恭子
		委 員	今野 悦也			
		委 員	鈴木 幸子			
		委 員	幸島 聡			
		委 員	柳川 道子			
		委 員	戸塚 咸子			
		委 員	小菅 友美			
		委 員	櫻井 原代			
		委 員	土岐 幸司			
		委 員	貝塚 健			
		会 議 の 議 題		(1) 正副会長の互選 (2) 地域福祉計画審議会について (3) 第2期地域福祉計画の進捗状況について (4) 今後の予定について		
会議の公開又は非公開の別		公開				
会 議 の 非 公 開 の 理 由						
傍 聴 人 の 数		0 人				
発 言 の 内 容		別紙「発言の要旨」のとおり				
会 議 資 料		別添のとおり				
事 務 局		福祉部地域福祉課				
議 事 の 確 定	確定年月日	令和6年8月 日				
	記 名 押 印 又 は 署 名	役職名 会 長 岡 田 哲 郎 ㊟ ※自署の場合は、押印不要です。				

発言の要旨

発言者	発言の要旨
仲野課長	会議開会に先立ち、事務局より伝達事項がございます。 市では、開かれた市政を推進するため審議会等の会議を公開することとしており、本審議会についても、会議を公開することとなっております。 本日の傍聴希望者はありませんので、このまま会議を開会させていただきます。 1. 開会 それでは、令和6年度第1回ふじみ野市地域福祉計画審議会を開会します。 本日の審議会委員の出欠状況でございますが、欠席の委員は鹿島委員の1名で、出席委員は13名となっております。本審議会の総委員数は14名です。本日の出席委員数は、半数以上が出席されており、ふじみ野市地域福祉計画審議会条例第6条第2項に基づく審議会の開催要件を満たしていることをご報告します。 また、本日の審議会には、ふじみ野市地域福祉計画審議会条例第6条第4項の規定により、ふじみ野市社会福祉協議会の職員にも出席いただいておりますので、ご報告します。 それでは次第の2、委員の皆様から、自己紹介をお願いしたいと思います。 (自己紹介)
仲野課長	ありがとうございました。 ここで、本日の会議資料の確認をさせていただきます。 (配布資料の確認) それでは、次第の「3. 議題」に移ります。 本審議会条例第6条第1項の規定により、議長は会長にお願いするところでございますが、本日、新たに審議会委員を委嘱させていただいたところですので、議題の1「正副会長の選出」について、を議事とし、事務局の方で議事の進行をさせていただきます。 本審議会条例第5条第1項に基づき、会長及び副会長それぞれ1名につきましては、委員の互選により選出することになっておりますが、どなたかいかがでしょうか。
杉本委員	事務局で案はありますか。
事務局	事務局案としましては、本市の地域福祉計画に長年にわたり携わっていただいております、前任期におきまして副会長でいらっしゃいました岡田委員を会長に、また副会長には、第3期地域福祉計画策定の経過を知り、地域

	からの信頼も厚い市来委員をご提案させていただきたいと思います。
仲野課長	事務局からの提案のとおりであれば、拍手をもって委員の皆様からの承認としたいと思います。
	(拍手)
仲野課長	ありがとうございました。 それでは、会長、副会長が互選されましたので、ご両名に前の席にお越しいただき、ご挨拶をお願いしたいと思います。
岡田会長	会長に選出いただきました岡田です。2014年度から10年間関わらせていただき、前任の山本会長の進行に学び、委員の皆様のご熱意、またそれに応えようとする事務局の仕事、そういった所に感銘を受けて関わらせていただけてきました。在住者ではありませんが、外の観点を活かしながら、市民のための市民が動かす地域福祉計画となるよう尽力できればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
仲野課長	ありがとうございました。 続きまして、市来副会長よりご挨拶をお願いします。
市来副会長	ただいま、ご推挙いただきました市来と申します。こちらの審議会はまだ日が浅いところではありますが、岡田先生とご一緒に進行の方をさせていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。
仲野課長	ありがとうございました。 それでは、議題2以降については、岡田会長に議長をお務めいただき、議事進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。
岡田会長	それでは、議題2「地域福祉計画審議会について」事務局より説明願います。
事務局	(「資料No.1」により、審議会について事務局より説明)
岡田会長	事務局から説明がありましたが、何かご質問や意見等がありますか。 ないようですので、次の議題に進ませていただきます。 議題3「第2期地域福祉計画の進捗状況について」事務局より説明願います。
事務局	(「地域福祉計画(第5章)施策の展開」により、令和5年度の特徴的な取組等を事務局より説明)
岡田会長	ただいま、第2期地域福祉計画の実績について事務局から説明がありましたが、何かご質問や意見等がありますか。
貝塚委員	地域づくりとは何か。なかなか具体的に見えにくい。例えば、私は西小学校のPTAをしていたのですが、上野台小の花壇がすばらしいとか、花の木中学校のこういうところがすばらしいなど、身近に目標とするところ

岡田会長	ろがあったりします。もしかしたら、そういう具体的な目標があるのかもしれないが、例えば、所沢市や流山市がすばらしいなど何か具体的な目標があれば教えていただきたい。目標が少しイメージしにくいので、何かもっと具体的にイメージできるものがあればと感じました。 ありがとうございます。目指すべきゴールとして何か見えるものがあるのかどうか。事務局のほうからお願いします。
仲野課長	具体的にどこの地域を目標とするのかはむずかしい。全国的にみると、ここの地域は地域福祉がすごく進んでいるとか、成年後見制度が進んでいるとか、障がい福祉施策が進んでいるなどあると思います。ただ、なかなかそれを目標に掲げることは難しいとは思いますが、そういった具体的なものと進捗管理がしやすいとは感じる。第3期計画での進捗管理では、事務局としても少し考えさせていただきます。
岡田会長	ありがとうございます。では、柳川委員、お願いします。
柳川委員	資料を見て優れているなど感じた部分を申し上げる。まず、重層的支援体制整備事業について、実践がかなり進んでいると感じている。にじいろ、CSWが配属されていて、総合的な相談にのれる体制づくりが非常に進んでいると実感している。行政は縦割りになっているため、障がい者の問題については、とりわけ幼児についてはインクルーシブ教育を大きく進められようとしている。実際、一つ一つの相談がばらばらに捉えられてしまうと、状態の改善が図られないことが多い。第3期計画では、相談と支援の公助が結びついているかということが、大きな問題になってくると感じます。そこを意識的に体制整備をしていくことを考えていかないと目標の達成には至らないと思うが、地域福祉課ではどのように考えていますか。
岡田会長	地域福祉計画は地域の課題、ニーズに基づいて領域横断的に必要な仕組みを作っていく行政計画となっています。ふじみ野市の総合相談の体制づくりは、全国に轟いている。ふじみ野市は先駆的な実践であると評価されている。ただ、それが実践的に動いているのかというところで、公助の部分と支え合いが繋がっていく第3期計画にするのが大きな課題。気を引き締めて推進していかなければならないとご指摘いただきました。
仲野課長	重層的支援体制整備事業の実施を進めているが、縦割りから横串を通す重層的支援体制整備事業が進んでいない自治体が多くみられるということで、昨年度もふじみ野市へ視察にきた自治体が結構あった。同じ部内でも連携が難しい。もう一つは、連携がそもそもできているので、重層的支援体制整備事業をつくらなくてもできているというところもある。ふじみ野市は、令和2年度に制度の狭間でどこの部署が対応するかわからなかった相談を、よりそいやにじいろを設置し、そこで受け止め交通整備をしたうえで、各種福祉の窓口と連携するといった体制を進めている。重層的支援体制整備事業が開始される前から地域力強化事業として国のモデル事業を行っていたので、連携は進められていたのですがまだまだ至らない部分も感じている。第3期計画の中でより横断的な体制を強化しながらどこにいてもすばらしいと言われるような支援体制を構築していければと考えて

	いる。そのために、審議会の中で様々なご意見をいただき、よりよいふじみ野市の地域福祉体制を構築していければと考えている。
岡田会長	ありがとうございました。では、杉本委員よろしくお願いいたします。
杉本委員	審議会は年2回程度ということで、委員として限られた時間の中で責任をもって判断していかなければいけないので、資料の説明の仕方であらういう風にしたい方がよいと思う点を、提言させていただく。資料には、PCDAが重要と書かれており、私たちはチェックをする役割で位置づけられていると承知している。例えば、進捗管理をするうえで、パーセンテージの達成度の説明をもう少し重点的にご案内いただければ、さらに議論や理解が深まっていくのではないのかと思う。
岡田会長	ありがとうございます。今のご意見を踏まえて、事務局の方も資料作りをしていただければと思います。では、今野委員お願いいたします。
今野委員	資料も見ても、やらなければいけない事業が非常に多い。何をどうやっていけばいいのか考えていたが、網羅的すぎる。私たちがやってきたことをお話しさせていただきますと、基本目標に関係づくり、体制づくり、地域づくりがあります。その中の地域づくりでいうと、祭りやグラウンドゴルフなど1つ1つの事業を実施していき、そこで地域の繋がりが生まれたり、潜在の掘り起こしなどを行っている。人材も限られている。人材、人が足りないため、自治組織として維持していくのも困難な状況がある。
岡田会長	第2期計画から、第3期計画策定にあたり、行政の仕組みとして総合的な相談窓口を設置しているが、行政だけが実施する地域福祉計画になっているのではないかという指摘があった。地域福祉計画は、住民の参加で推進・評価していく住民の計画だということ。市長への答申書でも、これからの課題は、「地域の支え合いをどう再生していくのか、それを実施していくには、地域福祉活動計画と車の両輪のように連携していかなければ、この第3期計画は絵に描いた餅になる」と申し合わせたところです。資料にもありますが、目標値の自治組織加入率が平成28年から今に至るまで56.7%から45%まで低下している。町内会未加入者を前提にした地域づくりに舵を切っていくことになるでしょうし、加入率に一喜一憂せず、地域でどのような機能を果たして行けばいいのかということも考えていかなければいけない時代なのかなと思ったところです。今野委員の網羅的すぎて、どこに焦点を置くのかがわからないという意見を重く受け止めつつ、第3期計画のリニューアルした基本目標に照らした施策を審議していくことになりますので、皆さんの貴重な意見を取り入れながら進めていきたいと思っています。 ここで次の議題に移らせていただきます。
岡田会長	議題4「今後の予定について」事務局より説明願います。
事務局	(今後の予定について事務局より説明)
岡田会長	ありがとうございます。事務局から説明がありましたが、何かご質問

	や意見等がありますか。
幸島委員	総合的な計画になればなるほど、所管課が複数、係も複数ですから、こういう図になるのは当然だと思う。自助・共助・公助の共助の部分でどれだけ市民一人一人の参加が生まれるような動きが出来ているのか見ていくのが、地域福祉計画審議会の役割ではないかと思う。 計画を読んでいて、すばらしいなと思った部分として、市民アンケートに併せて中学生にヒアリングをされている。6年間の計画を行う中でやはり中学生の参加、また高校や大学生などの若い世代の意見を聞くことがとても大切。自治会ははじめ保護司会も高齢化しているのは何故かといつも思っている。ぜひ、このような観点から事務局でも取り組んでいただき、またこのような立派な計画があるのだから一人でも多くの市民に関心をもっていただけるように審議会に参加させていただきたいと思う。
岡田会長	日本では、若者世代と中間世代への支援が抜けていると言われています。今回、中学生を主体としてしっかり意見を聞いてきたところを評価いただいた幸島委員からの意見でした。その他、いかがでしょうか。 土岐委員。お願いします。
土岐委員	目標についてなのですが、誰が相手なのかということを考えた方がいいのかなと思った。自治会の加入率が減っているとのことで、やはり声を挙げていない人がたくさんいるのでは。サイレントマジョリティと言ったりしますが、私の住んでいるふじみ野駅周辺は勤めている方が多く、なかなか地域のことに目が向きにくい方が多い。そういう方の意見は拾いにくいのかと思う。見えない人たちがどういう生活をしているのか。そういう人にどうアプローチしていくのかを工夫した方がいいと感じた。幸島委員がおっしゃる通り、中学生にヒアリングをすることは大事。一方、学校運営協議会でも生徒に意見を聞くこともあるが、そういう場と塾での生徒は違う。表に出るような意見も大事だけれども見えないところにある意見も吸い上げられるといいと思う。
岡田会長	この場に上がってこない声の中に本当の問題があるのではないかとこのところでは、ターゲットをしっかりとイメージして施策も作っていかねばいけない。その他、何かありますか。では、茂井委員お願いします。
茂井委員	障がい児についてですが、肢体不自由向けの障がい児の問題がどこにも入っていない。ヤングケアラー、医療的ケア児、発達障がいも出てきているが、機能障がいについて抜けているように感じます。もう少し関心をもっていただけたら嬉しいなと思う。
岡田会長	ありがとうございます。各領域で個別の福祉計画を作っているわけですが、そこを横断して土台となる仕組みを地域福祉計画で作っているわけですので、茂井委員のご発言を大切にしたいと思う。たとえば就労支援でも、就労の部分だけではなく、ともに生きていく共生の文化を作っていくのも地域福祉計画で欠けてはならない要素なのかなと思う。皆さんのお気づきの共通する基盤整備の課題点がありましたら随時ご発言をいただければと思います。その他いかがでしょうか。

事務局 岡田会長	ないようですので、次の議題に進ませていただきます。 議題5「その他」はありますか。ありましたら、事務局お願いします。 (事前資料④第3期地域福祉計画PRチラシについて事務局より説明) 事務局から説明がありましたが、地域福祉計画は、一部の人ではなく多くの人の参加で動かしていきたい。ふじみ野市の地域共生・協働の力を高めていきたいということで、今回第3期計画で力を入れたのが、「早わかり版」という冊子です。このチラシは、早わかり版を更にわかりやすく作ったものになっています。皆様の観点で、ここをもう少し直した方がいいというところがあれば、事務局までお寄せください。何かご質問やご意見等ありますか。
茂井委員	チラシの基本目標の順番に意図はありますか。HPでふじみ野市と検索したらすぐにこのページが開けるようなHPの作りにしてほしい。紙媒体ではないものの配信もお願いしたい。
土岐委員	出来たらふりがなを振ったほうがいいのでは。あとは率直に言うと字が少し多いように思う。「間違えないように伝えよう」と「分かりやすいように伝えよう」というバランスだと思う。そこで壁を感じてしまう方いると思う。情報として本当に必要なものを選んでいただければと思った。
市来副会長	高齢者もこんなに字を読まない。字が多いと読みたくないと言われてしまう。伝えたいところだけを載せるほうがいい。一番骨になる部分を載せるだけにしてもいいかもしれない。
岡田会長	行政がやってくれるんでしょっと思わせないよう、「一人一人が出来る事」を早わかり版にも載せた。ご意見を踏まえて、チラシを作っていたきたい。また、時間が限られている中で、この場で意見が伝えられないこともあると思うので、意見シートのような物を用意していただきたいと思う。 それでは、本日、予定されていた議題は全て終了いたしました。これをもちまして議長の任を解かせていただきます。慎重審議、ありがとうございました。
仲野課長	岡田会長、ありがとうございました。 それでは、次第5「その他」とありますが、事務局より、1点連絡事項がございます。
事務局	(事務局より報酬等の支払い等について連絡)
仲野課長	それでは、閉会にあたり市来副会長よりご挨拶をお願いします。
市来副会長	今日は、半分の委員が入れ替わり、新しい視点で地域福祉計画をみていただき、大変嬉しく思います。今、地域共生社会は、若者から高齢者、障がいのある方々を含めて、新しい福祉の支え合いということで動きだして

	いる。また機会があれば、ふじみ野市は様々な事にチャレンジしている市ですが、他の地域の突出した活動も参考にしながら今後に向けて、こちらの計画が充実したものになっていければと思っています。本日は、ありがとうございました。以上をもちまして、令和6年第1回ふじみ野市地域福祉計画審議会を閉会いたします。
--	--